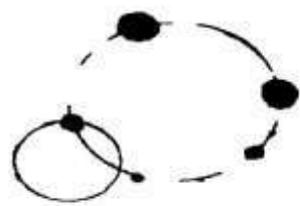
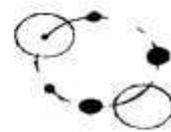


2026年1月

須坂高校 たより



臥龍魂

熱意気かり



## ☆ 受験シーズン 3年生頑張っています

3学年は、共通テストや各種試験に向けて、受験勉強に励んでいます。朝早くから登校して学習する姿も多く見られ、『ねばりの須坂』を感じる毎日です。年始に行った模試では、本番同様の環境で最後の力試し。いよいよ試験本番に向けた準備が整ってきました。

希望進路によって、試験の期間・内容は一人ひとり異なります。これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、共に学習してきた仲間や先生、そして最後まで努力した自分を信じて、万全な体調で力が発揮されることを願っています。



## ☆ 1年生も、小論文対策！

1学年は、就業体験や大学企業見学など、進路を見すえた活動を1年間続けてきました。

昨年秋からは、大学受験におけるさまざまな試験内容についても理解を深めています。3学期初回のLHRでは、小論文について学習をしました。文章構成を知るだけでなく、問いに合わせて「自分なりの視点」で主張を展開することができるか、考えを深めるワークを行いました。まず自分の考えをもつこと、さらに、考えを文章で表現することの難しさに直面した生徒もいました。

1月末には、初めての小論文模試に挑戦します。緊張感のある環境でも全力を尽くせるよう、日々の考査や模試で少しずつ経験を積むことがとても大切です。結果のみで一喜一憂するのではなく、伸びしろを見つけて次につなげていくことで、着実に力をつけていってほしいです。

## ☆ 須坂高校生徒会 中古ランドセル回収寄付事業について

須坂高校生徒会では、使い終わったランドセルや不要となった未使用の文房具を回収し、中東の国アフガニスタンの子どもたちに送る、という活動を現在行っています。アフガニスタンでは長引く紛争や政情不安から、子どもたちの学用品が不足しており、日本では当たり前のように使っているランドセルや文房具が、アフガニスタンにおいては子どもたちが学びの機会をもつ大きな支援になるという話を聞き、私たちも協力できないかと考えました。

本活動は、株式会社クラレによる『ランドセルは海を越えて』事業に協力させていただく形で行っており、この事業には本校同窓生である高橋秀行氏（高22回生）も長年に渡って関わっておられます。もし、役目を終えたランドセルがお家で眠っていましたら、ぜひこの活動にご協力いただき、まだ十分に使用できるランドセルに第2の活動の場所を与えてあげませんか。あわせて、不要となった未使用の文房具も回収し寄付を行っています。お預かりしたものは、大切に保管し責任を持ってアフガニスタンへと送りたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

生徒たちがポスターを制作しました。

ぜひご協力を  
よろしくお願いいたします。

➤ **回収期間**

令和8年1月19日(月)~2月27日(金)

➤ **回収場所**

須坂高等学校 事務室

(直接お持ちいただきますよう  
お願いいたします)

➤ **回収品**

● **使い終わったランドセル**

ただし、次のものは送れません

※豚革素材のもの(宗教上の事情から)

※破損していて使用できないもの

※学校指定の特殊なデザインのもの

● **不要となった文房具**

※未使用に限る、企業名や学校名などの  
記載がある場合も可能

＜お受けできるもの＞

ノート、メモ帳、鉛筆、色鉛筆、クレヨン、ボールペン、蛍光ペン、サインペン(水性・油性可)、  
消しゴム、鉛筆削り(電動不可)、筆箱(ペンケース、布製可)、下敷き、定規、クリアファイル

＜お受けできないもの＞

シャープペンシル、バインダー、ホッチキス、のり類、絵具、刃物類(ハサミ、カッターなど)、  
楽器類(鍵盤ハーモニカなど)、ナイロン製バッグ類、衣類、靴、タオル・ハンカチ類、ぬいぐるみ、  
玩具、ゲーム機、防犯ブザー、お守り、金品・飲食物、その他使用済み物品

➤ **問い合わせ先** 026-245-0334(代表) ➤ **担当職員** 生徒会顧問 塚田(英語科) 綿内(社会科)

☆ **お知らせ**

本年もどうぞよろしくお願いいたします 🌱

・『須坂高校たより』は、月に1回発行予定です。



ランドセルは海を越えて

20年以上続く活動で  
役目を終えたランドセルを  
アフガニスタンの子どもたち  
に贈っています♪

・回収期間  
令和8年1月19日(月)~2月27日(金)

・場所  
須坂高校(事務室)

・回収物  
使い終わったランドセル、未使用の文房具

問い合わせ先 026-245-0334(代表)



←詳しくはこちら

須坂高校生徒会(ランドセル実行委員会)

本活動は、株式会社クラレの「ランドセルは海を越えて」事業に協力する形で行っています